

市内観光の現況について

●市内の観光入込客数について

滋賀県内の主な観光入込客数

	令和 3 年	令和 2 年	対令和 2 年 増減率	令和元年	対令和元年増 減率
栗東市	927,382	850,700	9.0%	825,600	12.3%
草津市	2,206,676	2,130,400	3.6%	3,160,400	-30.2%
守山市	979,058	979,800	-0.1%	1,361,000	-28.1%
野洲市	1,196,130	1,080,800	10.7%	1,550,100	-22.8%
彦根市	1,542,521	1,454,600	6.0%	3,152,800	-51.1%
長浜市	4,254,436	4,536,300	-6.2%	7,056,900	-39.7%
大津市	7,364,314	7,562,900	-2.6%	12,903,100	-42.9%

令和 4 年度の栗東市の観光入込客数（速報値）**950,387人**（前年比23,005人増）となっており、増加率にやや落ち着きを見せている。一方で、金勝周辺エリアの観光スポットの増加や、アフターコロナによるインバウンド客の誘客が見込まれる。

●国内の観光動向等について

訪日外国人消費動向調査 (1 次速報)	訪日外国人旅行消費額は、 2019 年同期比 95.1% の 1 兆 2052 億円 (2023 年 4-6 月期の全国調査結果) 【R5. 7. 19】訪日外国人消費動向調査（観光庁）
宿泊旅行統計調査 (1 次速報)	○令和 5 年 7 月の延べ宿泊者数（全体）は、5,068 万人泊、 2019 年同月比 -0.9% (前年同月比+51.5%) であった。 ○日本人延べ宿泊者数は、7 月は、4,219 万人泊、 2019 年同月比+2.9% (前年同月比+7.8%) であった。 ○外国人延べ宿泊者数は、7 月は、1,063 万人泊、 2019 年同月比-1.6% (前年同月比+1408.6%) であった。 【R5. 5. 31】宿泊旅行統計調査（観光庁）

上記の動向を踏まえると、国内の観光は基調としては持ち直しの傾向がみられる。

先行きについては、アフターコロナの新しい観光のスタイルや円安などの影響に注視して、2025 年の万博や国スポ・障スポに向けた観光施策を取り組んでいく必要がある。

●今後の市の対応について

引き続き、国や県、市、関係機関などとの連携や、観光振興ビジョンに基づく具体的施策を実施し、一過性に終わることのない、持続可能な観光施策の検討・推進。

また、本市の特徴でもある馬を活用した観光振興を行うために、栗東 T C や、他関係団体、関係他課と連携を行う。